



MGC TODAY

特色ある優良化学会社を目指して

第79期中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

MGC

三菱ガス化学株式会社

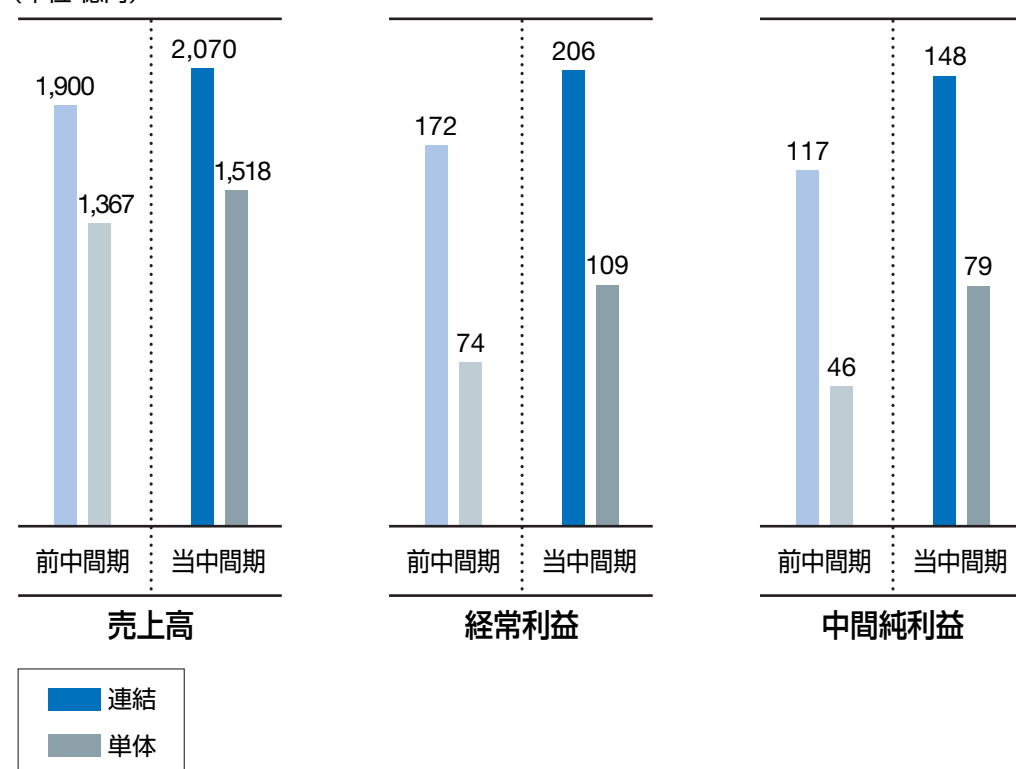
財務ハイライト — FINANCIAL HIGHLIGHTS



(単位:百万円)

	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
連結経営実績		
売上高	207,004	190,061
営業利益	15,677	13,859
経常利益	20,642	17,274
中間純利益	14,838	11,752
単体経営実績		
売上高	151,844	136,775
営業利益	9,043	6,832
経常利益	10,968	7,487
中間純利益	7,923	4,671
1株当たり中間配当金(単位:円)	4.00	2.50

(単位:億円)



目次

株主の皆様へ	1
事業別営業概況	
天然ガス系化学品事業	2
芳香族化学品事業	3
機能化学品事業	3
特殊機能材事業	4
その他事業	4
決算概要	
中間連結貸借対照表	5
中間連結損益計算書	6
中間連結剰余金計算書	6
中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
連結子会社	6
中間貸借対照表	7
中間損益計算書	7
会社概要	
株式の概要	9



株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第79期上半期(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)の中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国経済は、設備投資や個人消費の底堅さ、海外需要の持ち直しを背景に、緩やかな回復を続けました。

また、当社グループを取り巻く経営環境は、原油をはじめとする原燃料価格の上昇・高止まりの影響を受けたものの、国内景気の回復基調やアジア・米国などの外需に支えられて総じて堅調に推移しました。

当社グループはこのような事業環境の下、当期が最終年度となる連結中期経営計画「協創2005」の基本方針に沿って引き続き事業構造改革を続けるとともに、コスト削減、販売数量の拡大、販売価格の改善など収益向上に努めてまいりました。

この結果、当上半期の連結業績は、売上高は前年同期比169億4千万円増の2,070億0千万円、営業利益は18億1千万円増の156億7千万円、経常利益は33億6千万円増の206億4千万円、中間純利益は30億8千万円増の148億3千万円となりました。

また、当社単独の業績は、売上高は前年同期比150億6千万円増の1,518億4千万円、営業利益は22億1千万円増の90億4千万円、経常利益は34億8千万円増の109億6千万円、中間純利益は32億5千万円増の79億2千万円となりました。

当期の中間配当金につきましては、上記業績等を勘案して1株当たり4円とさせていただきます。

今後の経済情勢につきましては、国内景気が設備投資や民間需要の拡大を背景に引き続き緩やかな回復を続けると見込まれるものの、原油をはじめとする原燃料価格の高止まり、金利上昇、インフレリスクの台頭なども懸念されます。

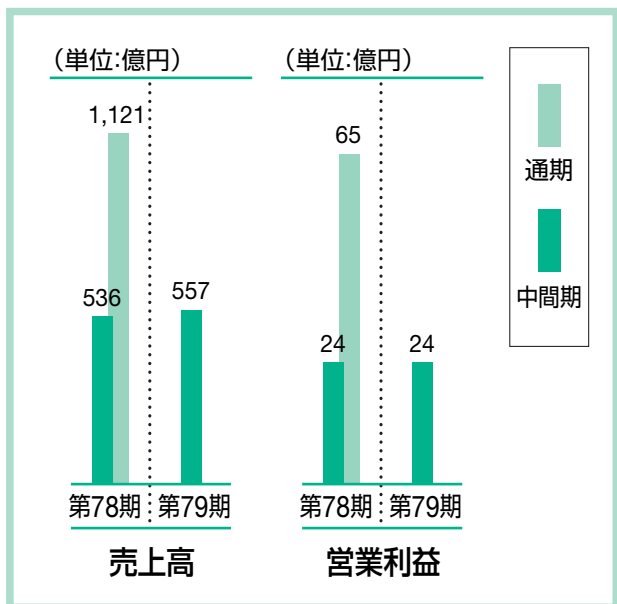
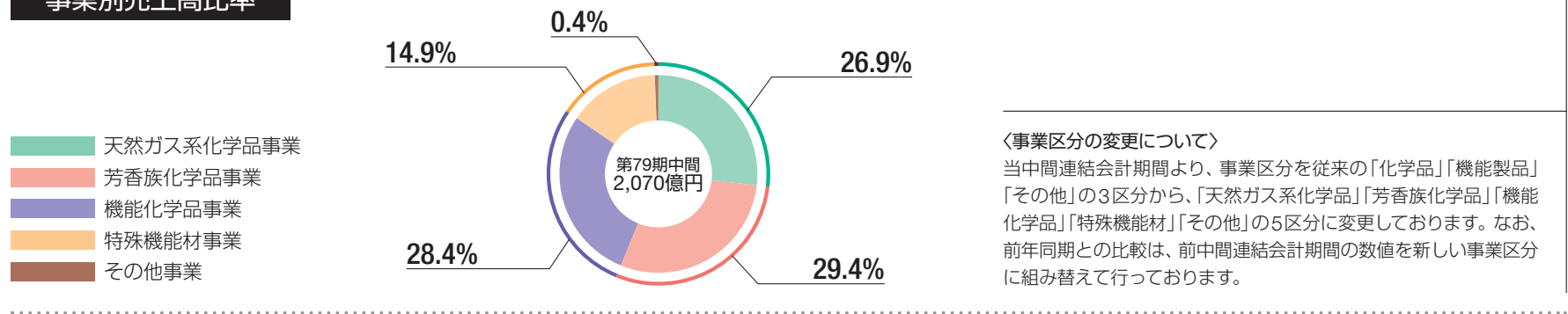
当社グループとしては、以上のような状況認識の下、連結中期経営計画「協創2005」の方針に沿った諸施策を確実に実施するとともに、今後の成長に向け、グループ全体として取り組んでまいります。

株主の皆様には引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

小高 英紀

事業別売上高比率



天然ガス系化学品事業

天然ガス系化学品部門の当上半期の連結売上高は対前年同期比20億2千万円増の557億0千万円、営業利益は7百万円増の24億4千万円となりました。

メタノールは、年初高騰した国際価格が中国の増産の影響を受けて軟化したものの、依然として高値で推移したため、対前年同期比で増収となる一方、コスト増により減益となりました。なお、海外のメタノール生産会社の業績は堅調に推移しました。

メタノール・アンモニア系化学品は、前期に続き販売数量、販売価格とも堅調に推移しましたが、中国での市況が下落したDMFやユーザーの在庫調整の影響を受けたMMA誘導品などは、販売数量が減少しました。なお、多価アルコール事業については事業基盤・国際競争力強化のため、原料供給者である三菱化学(株)と合併会社の設立で合意し、11月より営業を開始しました。また、DMF・DMACについては、今後の需要拡大が期待される中国で平成19年末の稼働を目標に生産拠点の設立を決定しました。

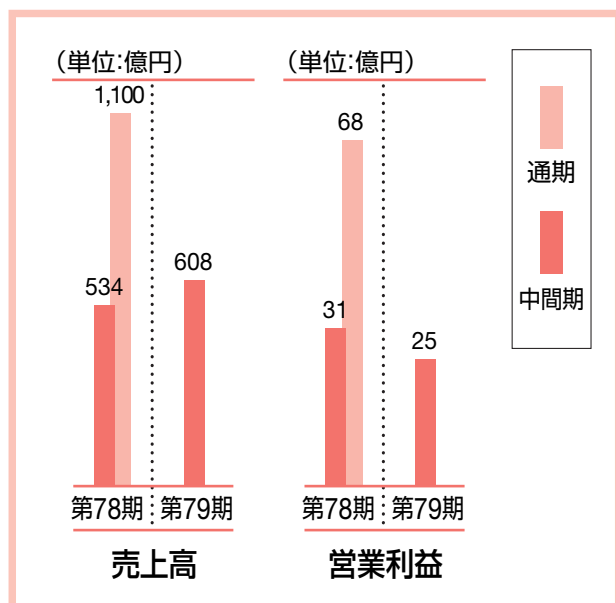
酵素・補酵素類では、コエンザイムQ10の需要が引き続き旺盛で、堅調に推移しました。コエンザイムQ10については、急速な需要の拡大に対応するため生産能力の増強を決定し、来年の完工に向け工事を進めています。

天然ガスおよびその他のエネルギー販売は、原油市況の高騰を受け、増収増益となりました。

ガス精製装置および温熱体製造販売を行う子会社の日本パイオニクス(株)は、需要低調の影響を受け、減収減益となりました。

上半期トピックス

- サウジ メタノールカンパニー (AR-RAZI) の第5期メタノール計画を決定
- 東新潟ガス田の探掘に成功
- コエンザイムQ10の生産設備増強を決定
- 多価アルコール事業で合併会社設立を決定



上半期トピックス

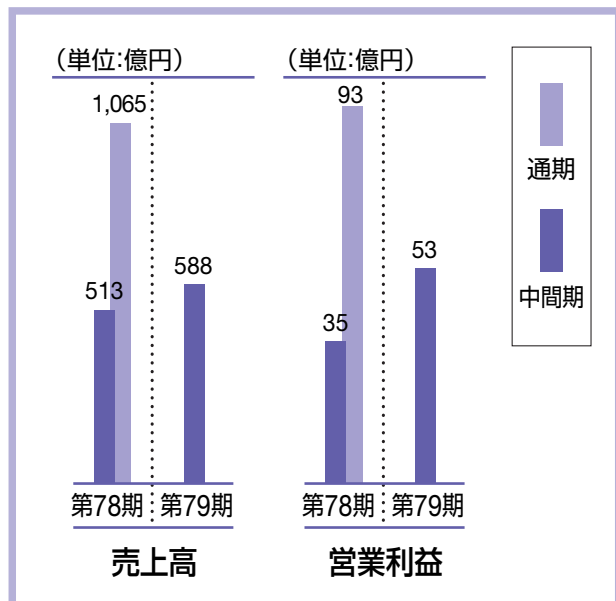
- MGC ADVANCED POLYMERS, INC.が操業開始

芳香族化学品事業

芳香族化学品部門の当上半期の連結売上高は対前年同期比74億3千万円増の608億3千万円、営業利益は5億4千万円減の25億6千万円となりました。

パラキシレンをはじめとする汎用化学品は、原料キシレン価格高騰によるコスト増を価格に転嫁したことにより大幅な増収となりましたが、パラキシレン、持分法適用会社ダイヤティーエー(株)の高純度テレフタル酸などの採算悪化により減益となりました。なお、パラキシレン事業につきましては、新日本石油(株)と来年4月より事業提携をすることで合意しました。

MXDA、MXナイロン、その他特殊芳香族化学品は、一部ユーザーの在庫調整の影響を受けた製品があったものの、全般として販売数量が増加し、堅調に推移しました。なお、MXナイロンについては、アメリカの製造販売子会社MGC ADVANCED POLYMERS, INC.が操業を開始しました。イソフタル酸を製造販売する子会社のエイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)も、堅調な需要拡大に対応し、増収増益となりました。



上半期トピックス

- ポリカーボネートシート・フィルム事業の統合を決定

機能化学品事業

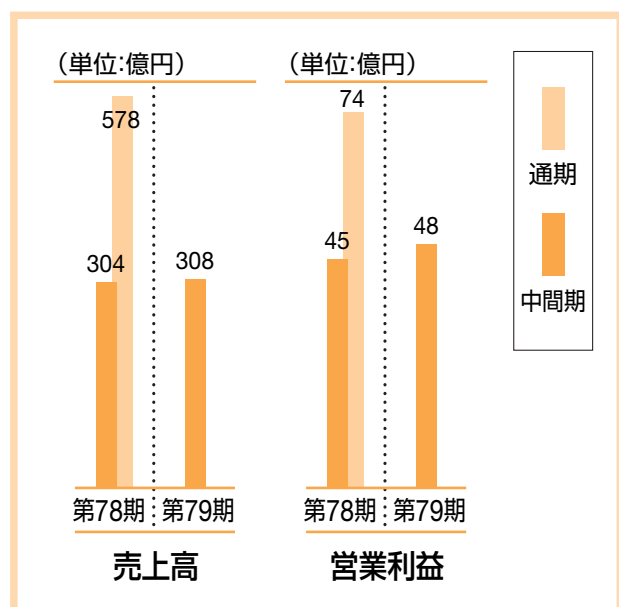
機能化学品部門の当上半期の連結売上高は対前年同期比75億5千万円増の588億7千万円、営業利益は17億6千万円増の53億1千万円となりました。

過酸化水素をはじめとする工業用無機薬品類は、過酸化水素が紙パルプの非塩素漂白向けに伸びたものの、輸入品との競争激化や、原燃料価格の上昇もあり、前年同期並みの実績に止まりました。

電子工業用薬品類は、半導体の生産回復や新規ラインでの採用もあって国内・輸出とも好調に推移し、海外子会社も合わせて増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、原料価格が上昇したものの、電気・電子業界、自動車業界向けが総じて順調に推移し、特にポリカーボネートおよびシート・フィルムが伸長した結果、持分法適用会社の三菱エンジニアリングプラス

チックス(株)なども含め全体として対前年同期比で増収増益となりました。なお、ポリカーボネートシート・フィルム事業の一層の強化拡大を目指し、当下半年より当社大阪工場と子会社である富士化成(株)を統合し、MGCフィルシート(株)として新たに発足しました。



特殊機能材事業

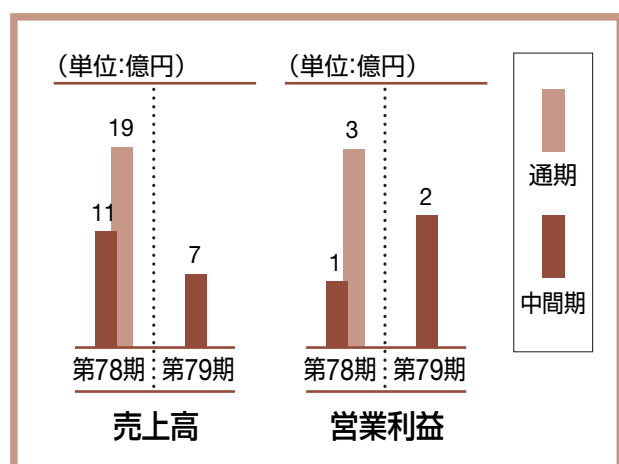
特殊機能材部門の当上半期の連結売上高は対前年同期比3億3千万円増の308億1千万円、営業利益は3億0千万円増の48億9千万円となりました。

プリント配線板用材料は、携帯電話その他デジタル関連機器の高機能化と好調な販売を受けて半導体の生産が回復した結果、半導体パッケージ基板用途のBT材の数量が増加し、生産子会社のエレクトロテクノ(株)を含め前年同期をやや上回る結果となりました。プリント配線板用小径孔あけ補助材料LEシートも堅調に推移しました。プリント配線板関係子会社の日本サーキット工業(株)は、新規設備が順調に稼働し、前年同期を上回りました。

「エージェレス®」等の脱酸素剤は、食品分野における輸出の落ち込みなどを愛知万博効果や非食品分野における新規ユーザー獲得などでカバーし、前年同期を若干上回りました。

上半期トピックス

- エレクトロテクノ(株)の増強設備が操業開始



その他事業

その他部門の当上半期の連結売上高は対前年同期比3億9千万円減の7億8千万円、営業利益は3千万円増の2億0千万円となりました。

中間連結貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	219,042	208,365
現金・預金	21,552	24,573
受取手形・売掛金	119,096	112,192
有価証券	5,093	5,046
たな卸資産	56,532	51,178
その他	16,768	15,374
固定資産	299,453	286,212
有形固定資産	151,574	153,742
建物・構築物	46,685	44,684
機械装置・運搬具	67,010	67,682
土地	22,692	22,824
その他	15,185	18,550
無形固定資産	3,407	3,668
投資その他の資産	144,471	128,801
投資有価証券	131,190	117,776
その他	13,280	11,023
資産合計	518,495	494,577

科 目	(単位:百万円)	
	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	213,773	197,045
支払手形・買掛金	77,594	75,763
短期借入金	97,470	92,273
一年内償還社債	11,000	1,000
その他	27,706	28,008
固定負債	74,373	87,005
社債	—	10,000
長期借入金	58,019	63,785
退職給付引当金	8,944	9,499
その他	7,406	3,720
負債合計	288,147	284,051
(少数株主持分)	7,379	7,219
(資本の部)		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,551	35,538
利益剰余金	138,133	124,928
土地再評価差額金	192	192
その他有価証券評価差額金	16,139	11,765
為替換算調整勘定	△5,069	△7,178
自己株式	△3,949	△3,910
資本合計	222,968	203,306
負債、少数株主持分及び資本合計	518,495	494,577

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
売上高	207,004	190,061
売上原価	167,769	154,280
販売費及び一般管理費	23,557	21,922
営業利益	15,677	13,859
営業外収益	8,115	7,240
営業外費用	3,150	3,825
経常利益	20,642	17,274
特別利益	204	266
特別損失	464	2,606
税金等調整前中間純利益	20,382	14,934
法人税、住民税及び事業税	4,397	2,603
法人税等調整額	624	0
少数株主利益	522	577
中間純利益	14,838	11,752

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
資本剰余金期首残高	35,538	35,538
資本剰余金増減高	12	—
資本剰余金中間期末残高	35,551	35,538
利益剰余金期首残高	124,928	104,649
中間純利益	14,838	11,752
利益剰余金増減高	△1,632	△1,866
利益剰余金中間期末残高	138,133	114,535

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,461	6,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,915	△3,451
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,074	△8,296
現金及び現金同等物に係わる換算差額	528	451
現金及び現金同等物の増減額	△3,000	△4,963
現金及び現金同等物の期首残高	28,696	30,418
現金及び現金同等物の期末残高	25,696	25,455

連結子会社(29社)

日本ヒドラジン工業(株)
日本パイオニクス(株)
エーアンドシー(株)
永和化成工業(株)
共同過酸化水素(株)
三永純化(株)
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
P.T.PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA
東洋化学(株)
富士化成(株)

THAI POLYACETAL CO., LTD.
エレクトロテクノ(株)
米沢ダイエレクトロニクス(株)
日本サーキット工業(株)
木江ターミナル(株)
海洋運輸(株)
国華産業(株)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE, LTD.
フドー(株)
(株)フドーテクノ

太陽産業(株)
エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)
MGC ADVANCED POLYMERS, INC.
(株)東京商会
菱江化学(株)
菱陽商事(株)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
菱和エンタープライズ(株)
MGC ファイナンス(株)

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	150,735	142,446
現金・預金	6,275	8,395
受取手形	3,087	3,290
売掛金	88,985	82,640
有価証券	4,007	4,007
たな卸資産	35,007	31,949
その他	13,373	12,162
固定資産	194,397	187,751
有形固定資産	94,273	96,111
建物・構築物	31,363	30,749
機械装置	39,166	40,220
土地	13,908	14,028
その他	9,836	11,112
無形固定資産	1,700	1,705
投資その他の資産	98,424	89,933
投資有価証券	56,122	49,042
関係会社株式・出資金	37,271	37,121
その他	5,031	3,769
資産合計	345,133	330,197

(単位:百万円)

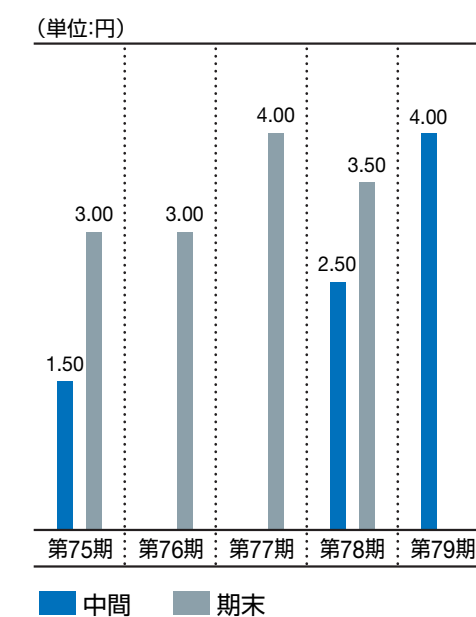
科 目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	141,617	128,598
支払手形	1,338	511
買掛金	45,608	45,582
短期借入金	66,354	63,932
一年内償還社債	10,000	—
その他	18,317	18,571
固定負債	52,983	61,593
社債	—	10,000
長期借入金	41,742	43,567
退職給付引当金	5,037	5,504
その他	6,204	2,520
負債合計	194,601	190,191
(資本の部)		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,681	35,668
利益剰余金	61,206	54,902
その他有価証券評価差額金	15,623	11,375
自己株式	△3,949	△3,910
資本合計	150,531	140,006
負債・資本合計	345,133	330,197

中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日～ 平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年4月1日～ 平成16年9月30日)
売上高	151,844	136,775
売上原価	128,056	116,158
販売費及び一般管理費	14,744	13,785
営業利益	9,043	6,832
営業外収益	4,304	3,675
営業外費用	2,378	3,020
経常利益	10,968	7,487
特別利益	204	273
特別損失	316	2,416
税引前中間純利益	10,856	5,344
法人税、住民税及び事業税	2,040	322
法人税等調整額	893	351
中間純利益	7,923	4,671
前期繰越利益	5,867	3,137
合併による子会社株式消却損	—	352
中間未処分利益	13,790	7,456

1株当たり配当金



会社概要 — COMPANY DATA

(平成17年9月30日現在)

社名 三菱ガス化学株式会社
(登録商号：三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

コーポレート
シンボル



本社所在地 〒100-8324
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル

創業 1918(大正7)年1月15日

設立 1951(昭和26)年4月20日

資本金 419億7千万円

従業員数 2,261名(連結：4,452名)

事業所

営業所：大阪支店、名古屋支店

研究所：東京研究所、新潟研究所
平塚研究所

工場：新潟工場、水島工場、四日市工場
山北工場、鹿島工場
東京開発センター

代表取締役 会長	大平 晃
代表取締役 社長	小高英紀
代表取締役 専務執行役員	中村博海
代表取締役 専務執行役員	喜嶋安彦
取締役 常務執行役員	川木隆雄
取締役 常務執行役員	上松正次
取締役 常務執行役員	酒井和夫
取締役 常務執行役員	川崎敏雄
取締役 常務執行役員	梅村俊和
取締役 常務執行役員	山崎慶重
執行役員	川上邦彰
執行役員	臼田邦介
執行役員	臼田憲男
執行役員	宮内 雄
執行役員	宮坂一博
執行役員	杉原康夫
執行役員	塚本耕三
執行役員	大矢邦夫
執行役員	上石邦明
執行役員	畑 仁
執行役員	藤田 肇
執行役員	水谷 誠
理事	雨谷章一
理事	大牟田秀文
監査役	尾方康紀 [常勤]
監査役	池田幸男 [常勤]
監査役	野口一英 [常勤・社外]
監査役	田口 弥 [非常勤・社外]

株式の概要 — STOCK INFORMATION

(平成17年9月30日現在)

発行する株式の総数 984,856,000株

発行済株式総数 483,478,398株

株主数 39,129名

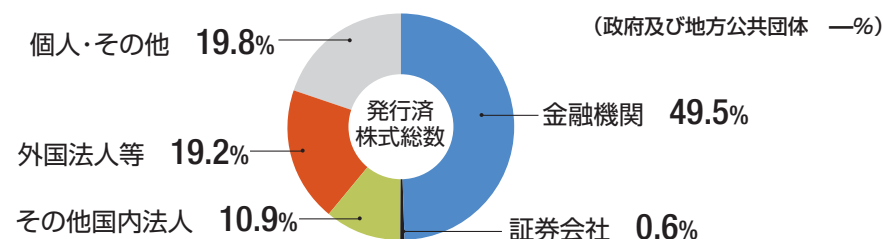
上場証券取引所 東京・大阪・名古屋 各証券取引所第一部(証券コード:4182)

大株主

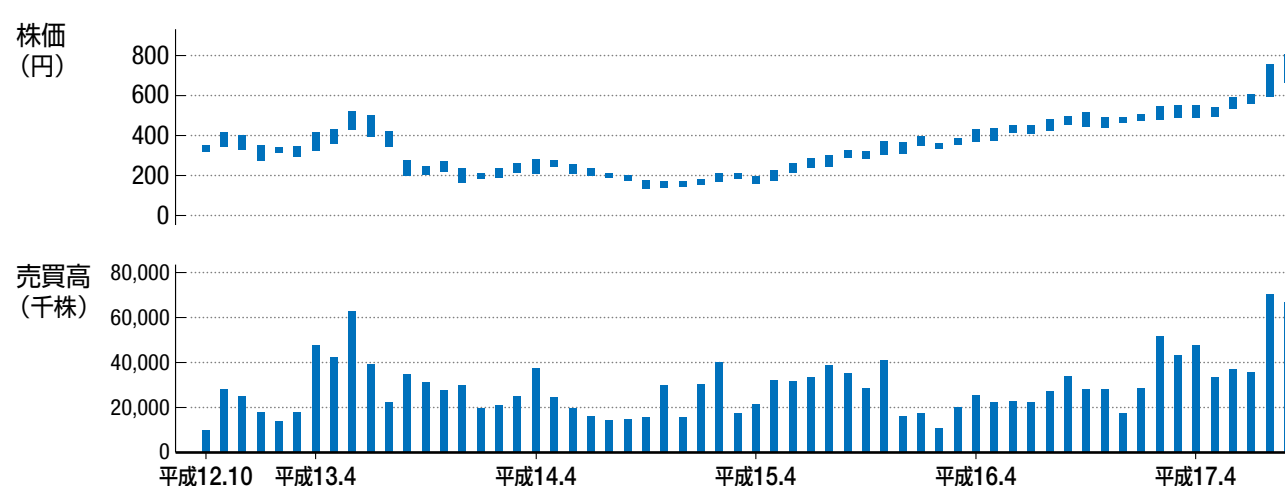
株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	39,348千株	8.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	31,603千株	6.5%
日本生命保険相互会社	24,522千株	5.1%
明治安田生命保険相互会社	16,795千株	3.5%
株式会社東京三菱銀行	16,403千株	3.4%
三菱信託銀行株式会社	11,686千株	2.4%
農林中央金庫	10,053千株	2.1%
旭硝子株式会社	9,671千株	2.0%
東京海上日動火災保険株式会社	9,495千株	2.0%
株式会社損害保険ジャパン	8,564千株	1.8%

※当社は自己株式を21,117千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別分布状況



株価等の状況



株式についてのご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
1単元の株式数	1,000株

公告掲載新聞

東京都において発行する日本経済新聞

※ 貸借対照表及び損益計算書につきましては、
決算公告に代えて当社ホームページの次のアドレスにて開示しております。

<http://www.mgc.co.jp/kessan/>

名義書換代理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒100-8212
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同事務取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

電話お問合わせ

〒171-8508

郵便物送付先

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 707-696 (フリーダイヤル)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、
名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。また、以下のホームページからのご入手
いただけます。<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元未満株式の買取および買増請求について

単元未満株式の売却をご希望の場合(買取請求)もしくは買増をご希望の場合(買増請求)は、上記の名義書換代理人にてお取扱いいたします。
ただし、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、預託窓口の証券会社にお申し出ください。

MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

ホームページではさまざまな
情報がご覧いただけます。



<http://www.mgc.co.jp>

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK™

この冊子は100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。